



丁寧に木藍の葉を刈り取ります。

藍は、いこいの家の染め物に使用するほか、染色関係の方々からも注文があり、好評をいただいている

9月7日、いこいの家では、泥藍作りのための木藍の刈り取り作業を行いました。この日刈り取ったのは軽トラック一台分。木藍は、種から育てるときは周りの雑草とともに成長させなければ倒れてしまい、また刈り取ったあとは、雑草も同じく刈り取らないと木藍が枯れてしまうため管理が大変です。この日刈り取った木藍は、水に漬けて発酵させます。気温が低いと

発酵に時間がかかりますが、今回は2日間で葉を取り出すことができました。

葉を水から取り出したあとは、石灰を入れてひたすらかき混せます。最初は青い泡が出てきますが、しばらくすると泡が少なくなり、白い泡になると泥藍作りの藍の酸化作業は終了です。すると徐々に沈殿した泥藍と上澄みに分離され、上澄みを捨てると泥藍ができるがります。いこいの家で作った泥



## 泥藍作り



木藍を発酵させたあとは、ひたすら混ぜ続けます。

NPO法人結いの会 TEL : 0980-84-1636  
代表 大濱守哲 : 090-8293-9462  
<http://ikoi.xii.jp> [yuinokai@mco.ne.jp](mailto:yuinokai@mco.ne.jp)